

小金井市の環境・みどりに関する市民アンケート調査結果（速報値）

1. 調査の概要

(1) 目的

第3次小金井市環境基本計画、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画及び小金井しみどりの基本計画の中間見直しにおける評価のため、環境・みどりについて日頃感じている市民の意識・意向を把握する。

(2) 対象

市内在住の18歳以上で無作為に抽出した3,000人

（外国籍の方90名には、日本語のほか、英語、中国語、韓国語の調査票を同封し送付）

(3) 方法及び期間

方 法	期 間
・調査票を郵送、返信用封筒にて回収（紙面）	令和7年6月25日
・調査票に掲載の二次元コード、URLよりインターネットで回答（WEB）	～7月16日

(4) 回答概要

対象	配布数	回答数（n）	回答率
18歳以上の市民	3,000	1,078	35.9%

※ 正式な調査結果は令和8年3月末に公表する。

※ 上記のうち、外国籍の方の回答数は3件（英語1件、中国語2件）

※ WEBと紙面の重複回答が1件あったため、有効な回答数から除外した。

※ 回答率は、小数点第2位を四捨五入

【参考】年代別回答率

年代	発送数		回答数				回答率
			紙面		WEB	合計	
10代	67	(4)	6	(1)	10	16	23.9%
20代	473	(54)	30	(0)	42	72	15.2%
30代	484	(24)	50	(0)	86	136	28.1%
40代	529	(6)	79	(2)	96	175	33.1%
50代	520	(2)	101	(0)	91	192	36.9%
60代	396	(0)	147	(0)	65	212	53.5%
70代以上	531	(0)	241	(0)	26	267	50.3%
無回答	—	—	8	(0)	0	8	—
合計	3,000	(90)	662	(3)	416	1,078	35.9%

※ 発送数及び紙面の回答数の括弧書きは外国籍の方

2. アンケート調査結果

◆ご自身について

➤ 性別

回答者の性別は女性が 54.0%、男性が 39.5%であった。その他の回答が 0.6%、無回答・無効は 5.8%であった。

n = 1,078

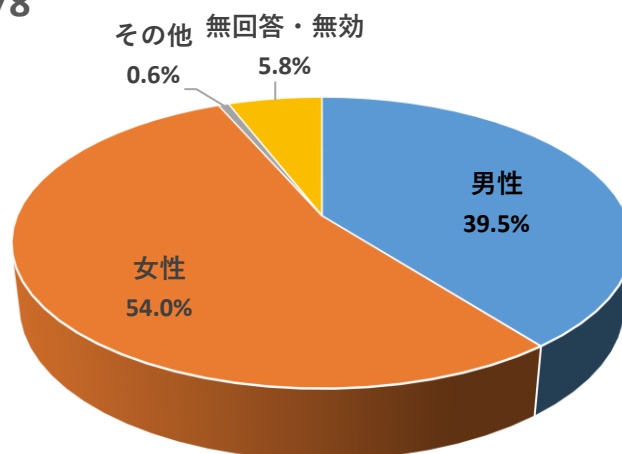


図 性別

➤ 年齢

回答者の年齢は 70 歳以上 (24.8%) が最も多く、次いで 60 歳代 (19.7%)、50 歳代 (17.8%)、40 歳代 (16.2%) であった。

n = 1,078

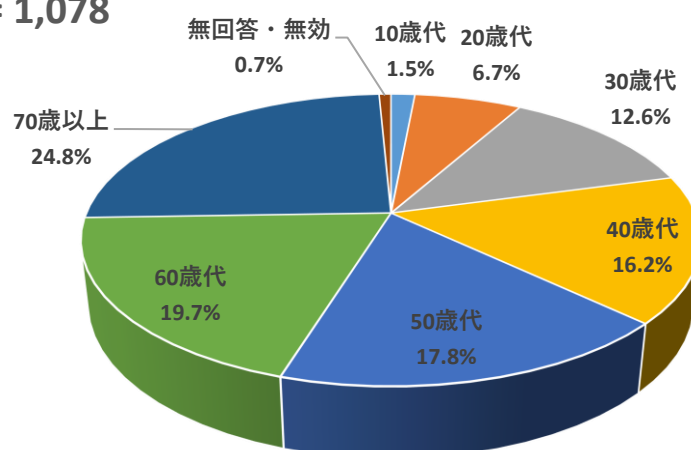


図 年齢

➤ 住所【町名】

回答者の居住地区は本町（16.9%）が最も多く、次いで東町（16.0%）、緑町（14.9%）前原町（12.4%）であった。

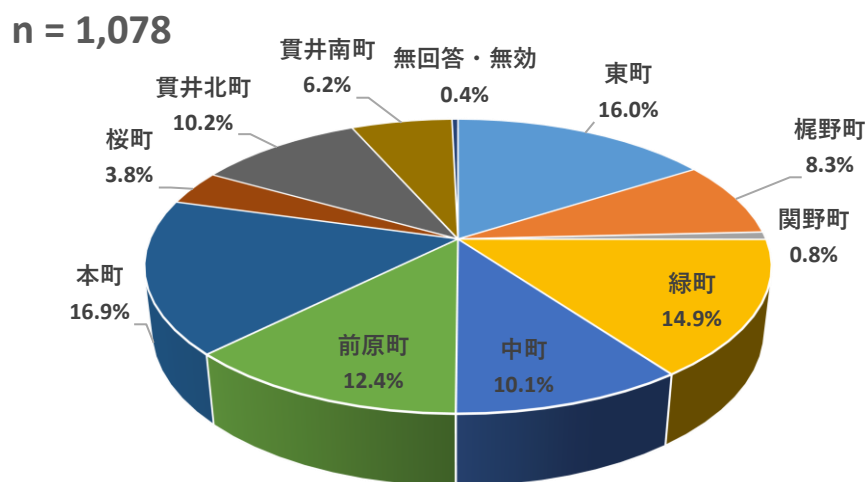


図 住所（町名）

➤ 居住地域

回答者の居住地域は北地域（20.9%）が最も多く、次いで中央地域（18.5%）、東地域（16.9%）であった。

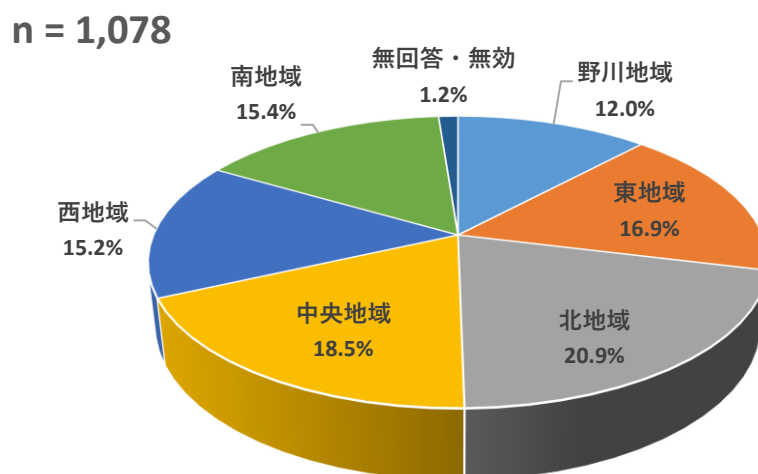


図 居住地域

➤ 居住年数

回答者の居住年数は30年以上（36.1%）が最も多く、次いで10年以上20年未満（18.4%）、20年以上30年未満（16.9%）であった。

n = 1,078

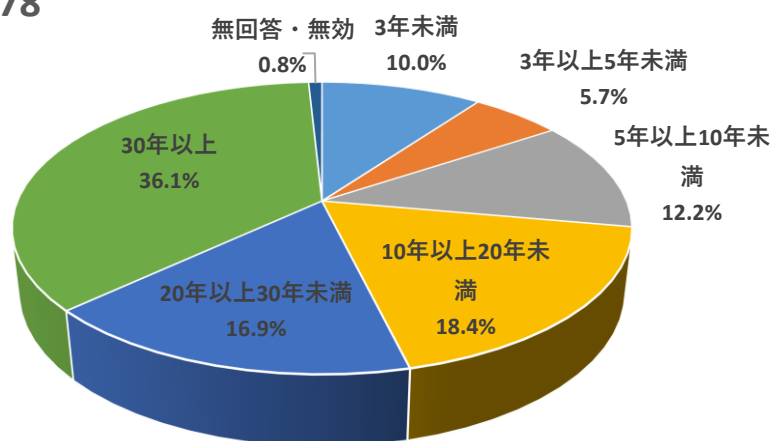


図 居住年数

➤ 住宅の形態

回答者の住宅の形態は戸建てが55.3%、集合住宅が37.5%であった。

n = 1,078

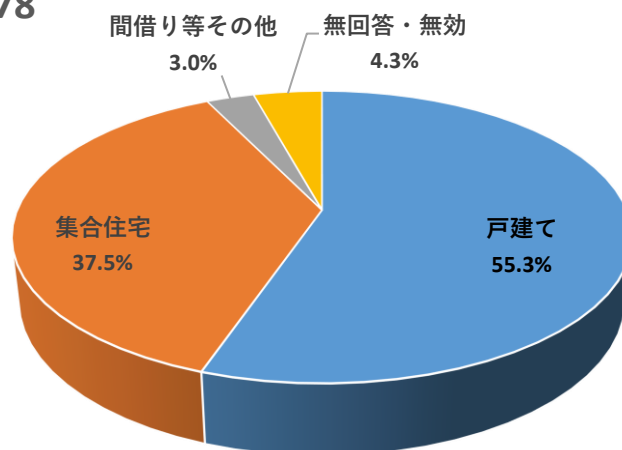


図 住宅の形態

1 身近な環境の満足度について

お住いの地域の環境に関して、該当する番号 1 つに○をつけてください。

身近な環境の満足度において、「満足」、「やや満足」の合計値は「まちの静けさ」、「まちの清潔さ・きれいさ（ごみの散乱、におい等）」、「生き物との親しみやすさ」、「水辺との親しみやすさ（河川や湧水を身近に感じるか）」、「水のきれいさ（河川や湧水の水質、におい等）」で 6 割以上であった。

「地球環境に配慮した取組み（CO₂削減等）」は、「満足」、「やや満足」の合計値が 3 割以下で最も低かった。

身近な環境の満足度（n = 1,078）

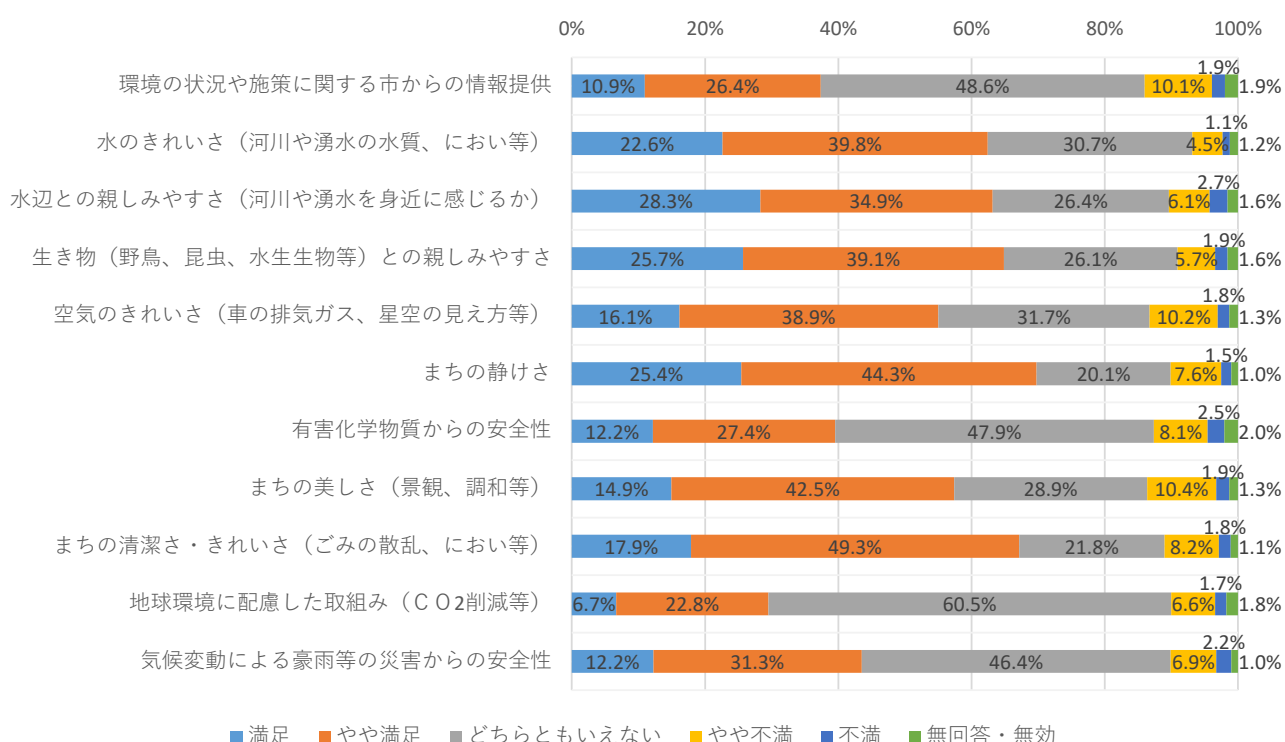


図 身近な環境の満足度

環境基本計画の指標である「生き物との親しみやすさ」、「まちの美しさ」の「満足」、「やや満足」の合計値は、令和 12 年度の目標値を上回った。

表 環境基本計画の指標

項 目	令和元年度	令和 7 年度	令和 12 年度（目標値）
生き物との親しみやすさ	44.8%	64.8%	55%
まちの美しさ	46.0%	57.4%	55%

2 日常生活における環境に関する取組状況

1) 普段の生活を振り返って、小金井市の環境に優しい行動がとれていますか。各項目について、該当する番号1つに○をつけてください。

環境に優しい行動の取組状況において、「いつもしている」、「ときどきしている」の合計値は「ものを捨てる時は、水銀などの有害ごみを混入させないなど、分別を徹底する」、「ポイ捨てをしないなど、マナーを守って生活する」、「生活騒音に気を付けるなど、日頃から隣近所への配慮を心掛ける」、「生ごみは水切りを行い、汚れがあるごみは洗浄してから排出する」、「移動は徒歩、自転車、公共交通機関を優先する」で9割以上であった。

「生ごみは堆肥化して有効に利用する」は、「いつもしている」、「ときどきしている」の合計値が2割以下で最も低かった。

環境に優しい行動（n = 1,078）

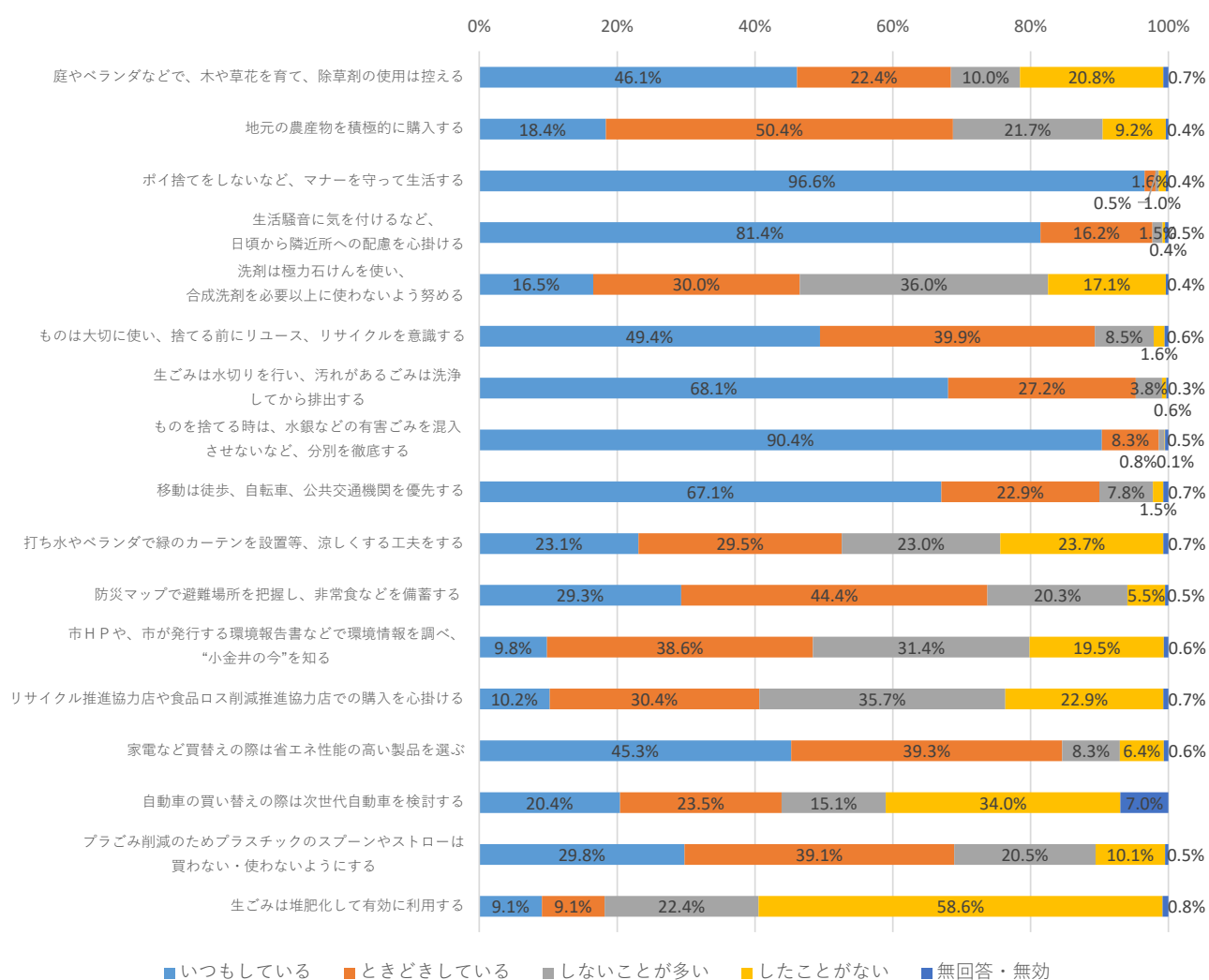


図 環境に優しい行動の取組状況

2) 環境配慮型の機器の利用・導入状況について、該当する番号1つに○をつけてください。

環境配慮型機器について、「既に導入している」の割合が最も高かったのは「断熱窓」(22.0%)であった。次いで「高効率給湯器」(19.7%)、ハイブリッド車(15.0%)であった。

「今後導入したい」の割合が高かったのは、「断熱窓」(27.5%)、「遮熱塗装」(26.4%)となり、住宅の断熱化の意向が高かった。

環境配慮型機器 (n = 1,078)

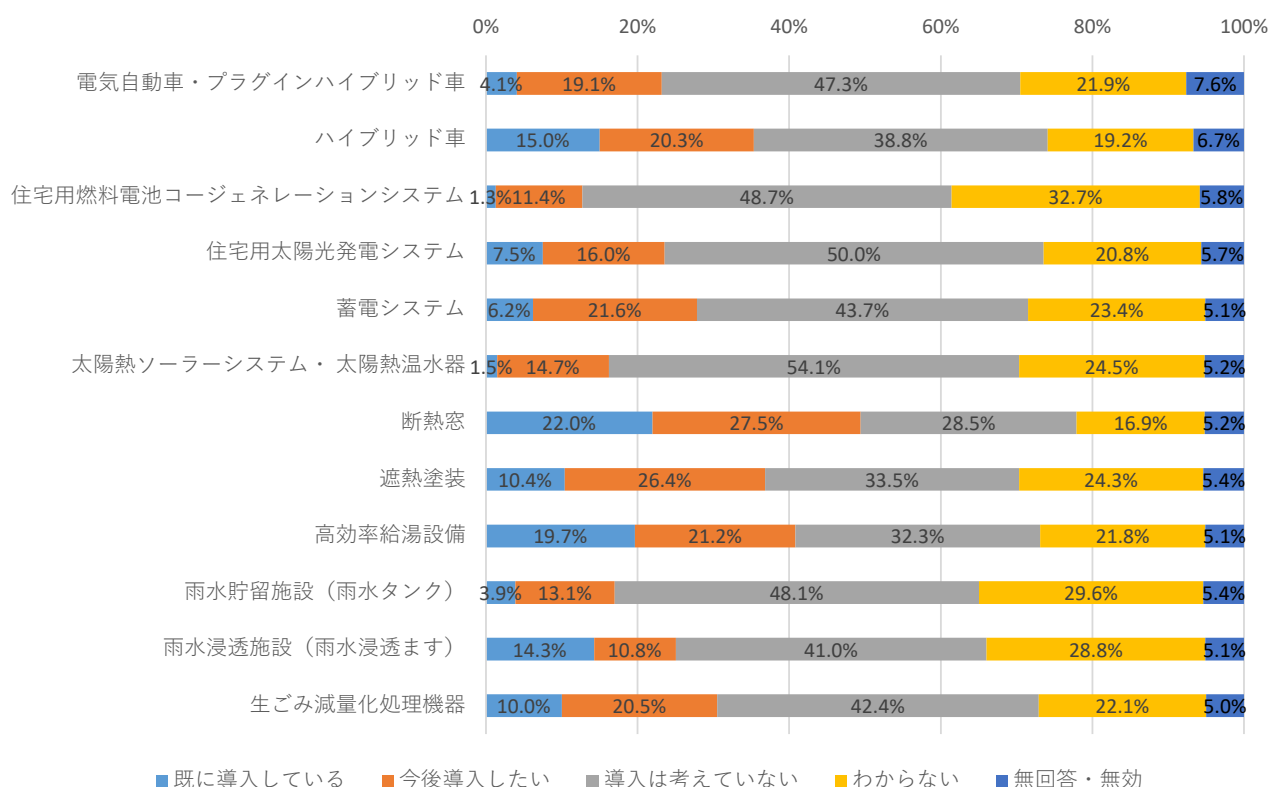


図 環境配慮型機器の利用・導入状況

3) その他、ご家庭で取り組まれている環境に関する取組などがあれば、お書きください。

(集計中)

3 環境保全活動への参加状況及び小金井市の取組の認知度について

1) 以下の環境保全活動に過去5年以内に参加したことはありますか？該当する番号1つに○をつけてください。

環境保全活動について、「参加したことがある」の割合が高かった活動は「ごみ減量活動」(36.1%)、「まちの清掃、美化活動」(28.8%)であった。

「参加したことはないが今後機会があれば参加してみたい」の割合が高かった活動は「まちなかの緑化活動(植樹・花壇づくり・緑のカーテン等)」(58.6%)、「地下水・湧水・河川の保全活動」(57.3%)、「地域の自然(生き物、樹林等)の保全活動・観察会」(57.1%)であった。

環境保全活動 (n = 1,078)

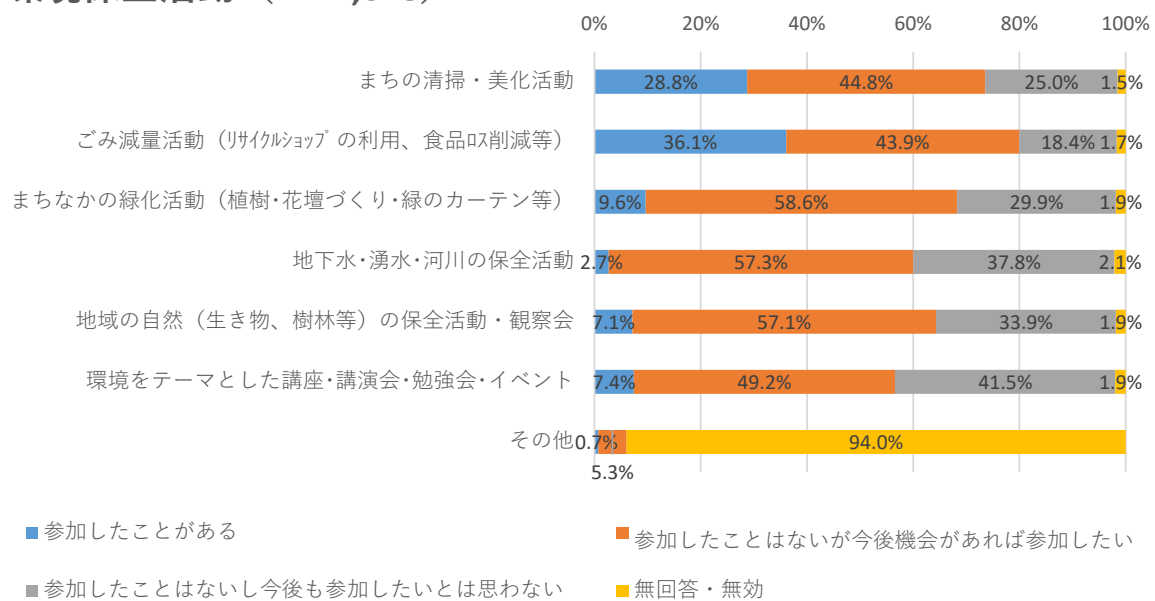


図 環境保全活動への参加状況

2) 以下は、小金井市が実施している環境・みどりに関する計画や取組、施設等の一部です。
これらについて該当する番号1つに○をつけてください。

環境・みどりに関する計画について、「知っているし、読んだことがある」、「知っているが、読んだことはない」の合計値は「小金井市環境基本計画」、「小金井市みどりの基本計画」は3割以上であった。

「小金井市地球温暖化対策地域推進計画」、「小金井市気候非常事態宣言」は「知らない」の回答が約7割であった。

環境・みどりに関する計画 (n = 1,078)

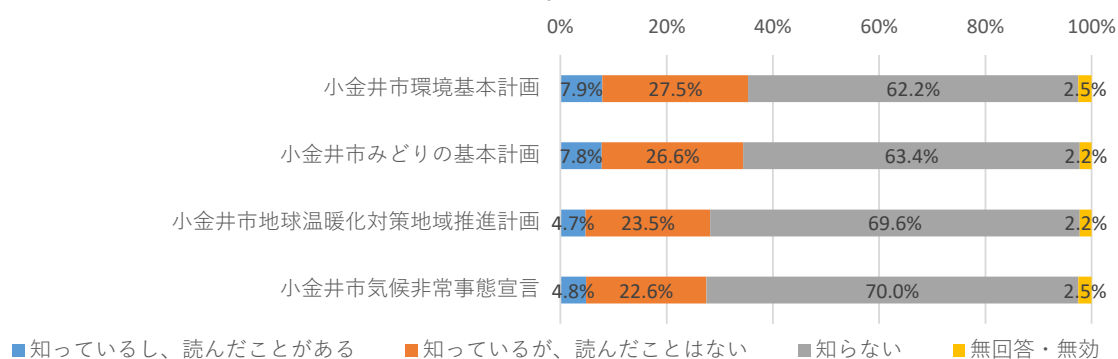


図 環境・みどりに関する計画の認知度

環境・みどりに関する取組について、「知っているし、参加ことがある」、「知っているが、参加したことはない」の合計値は「野川環境フィールドワーク」が最も高かった。

その他の取組については、「知らない」の回答が7割前後であった。

環境・みどりに関する取組 (n = 1,078)

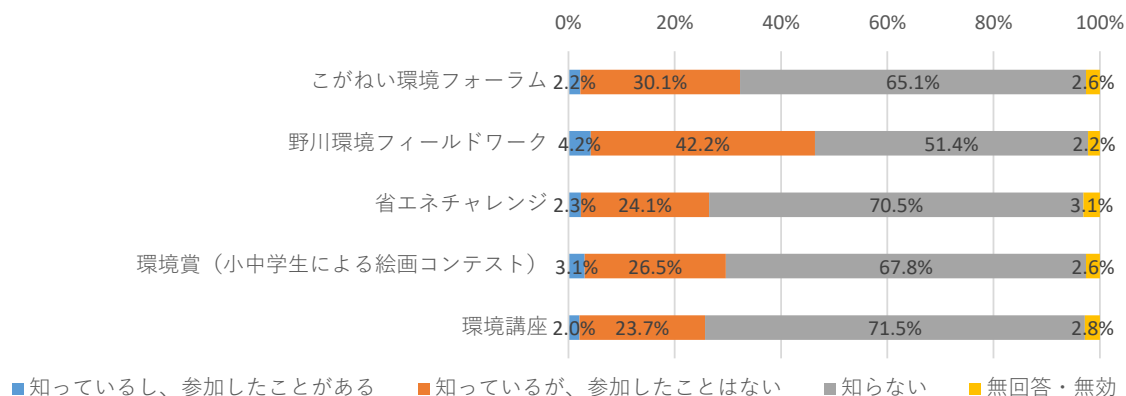


図 環境・みどりに関する取組の認知度

環境楽習館について、「知っているし、利用（見学）ことがある」は6.4%、「知っているが、利用（見学）したことはない」は22.2%であり、「知らない」の回答が7割であった。

環境楽習館（n = 1,078）

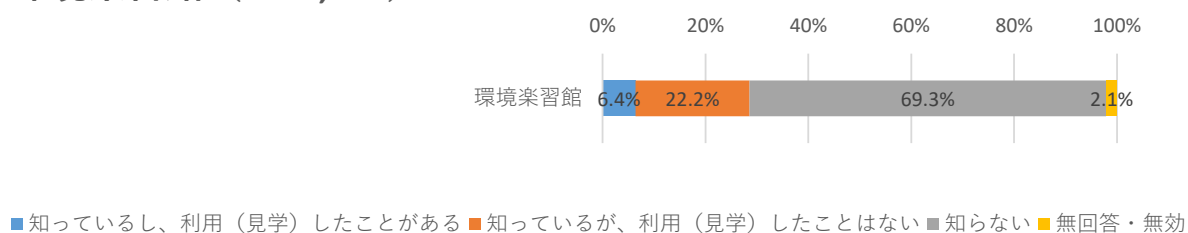


図 環境楽習館の認知度

環境・みどりに関する補助金・制度について、「知っているし、利用したことがある」、「知っているが、利用したことがない」の回答は「住宅用新エネルギー機器等普及促進補助金」が最も高かった。

その他の補助金・制度については、「知らない」の回答が7割前後であった。

環境・みどりに関する補助金・制度（n = 1,078）

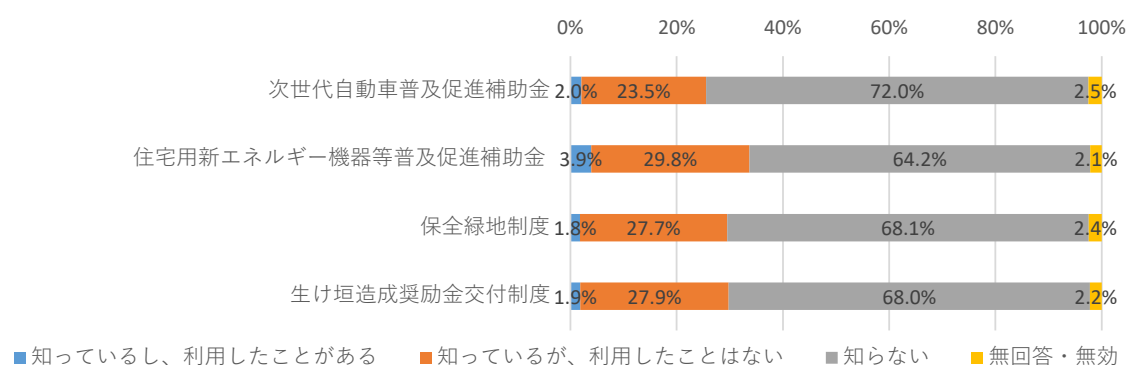


図 環境・みどりに関する補助金・制度の認知度

3) 前ページの1)、2)で参加(利用)したことはないと回答した設問がある方に伺います。参加しなかった理由、参加したいと思わない主な理由は何ですか。該当する番号1つに○をつけてください。

「時間的余裕がないから」が50.6%で最も高く、次いで「興味がないから」(16.0%)、「知っていたら参加(利用)したかった」(13.6%)であった。

n = 1,078

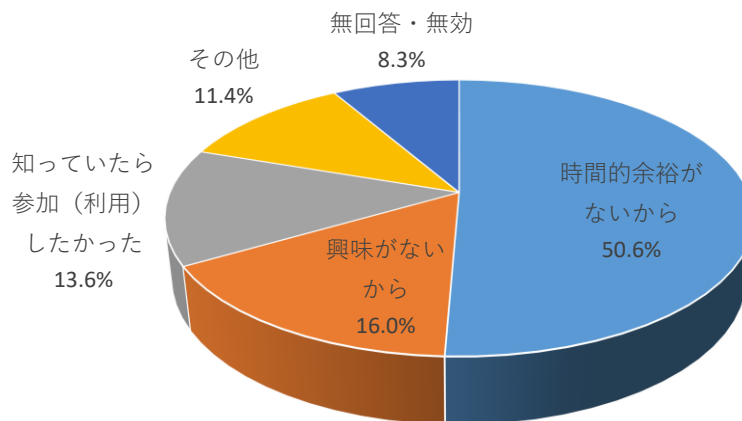


図 参加しなかった、参加したいと思わない理由

4 環境に関する情報提供について

環境に関する情報（例：環境関連イベント等のお知らせ、環境調査データの公開等）を市から発信する場合、どの媒体が利用しやすいですか。該当する番号に○をつけてください。（○はいくつでも）

環境に関する情報提供について、「市報こがねい」が80.3%で最も高かった。次いで「市ホームページ」（26.7%）、「X、LINE等のSNS」（24.7%）が高かった。

情報提供手段（n = 1,078）

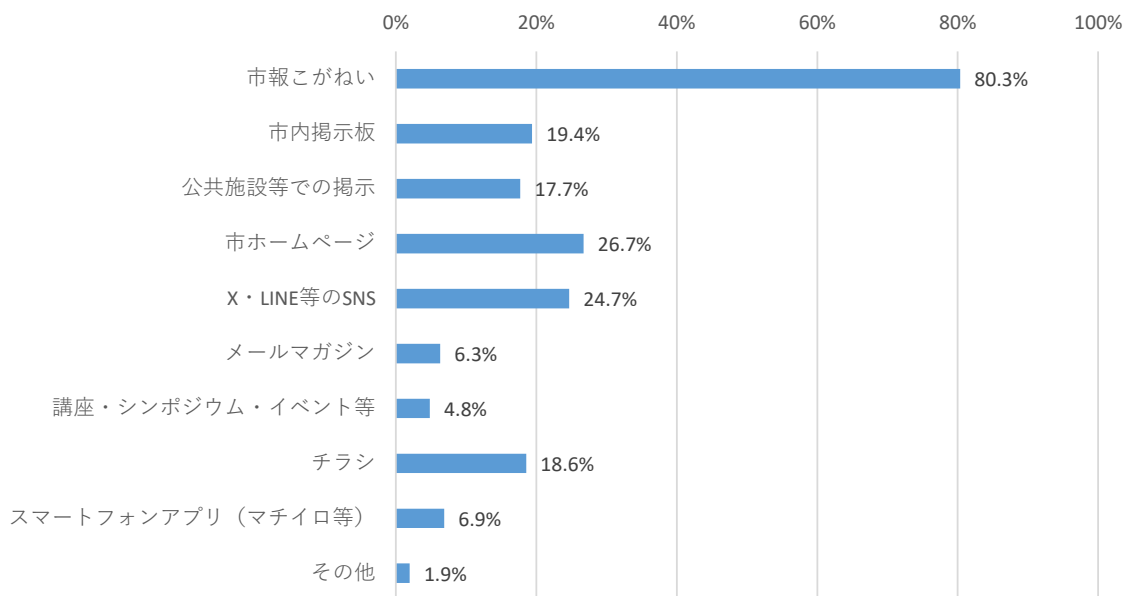


図 利用しやすい市からの情報提供手段

5 今後、重視すべき取組について

小金井市の環境に関する取組を進めていく上で、今後、特に重要だと思う取組を、以下のうちから5つまで選んで、右の欄に記載してください。

市が重視すべき取組について、「ごみの適正な処理と3Rの推進」が43.1%で最も高かった。次いで「地球温暖化の防止」（42.0%）、「小金井らしい景観（国分寺崖線等）の保全」（41.3%）が高かった。

重視すべき取組（n = 1,078）

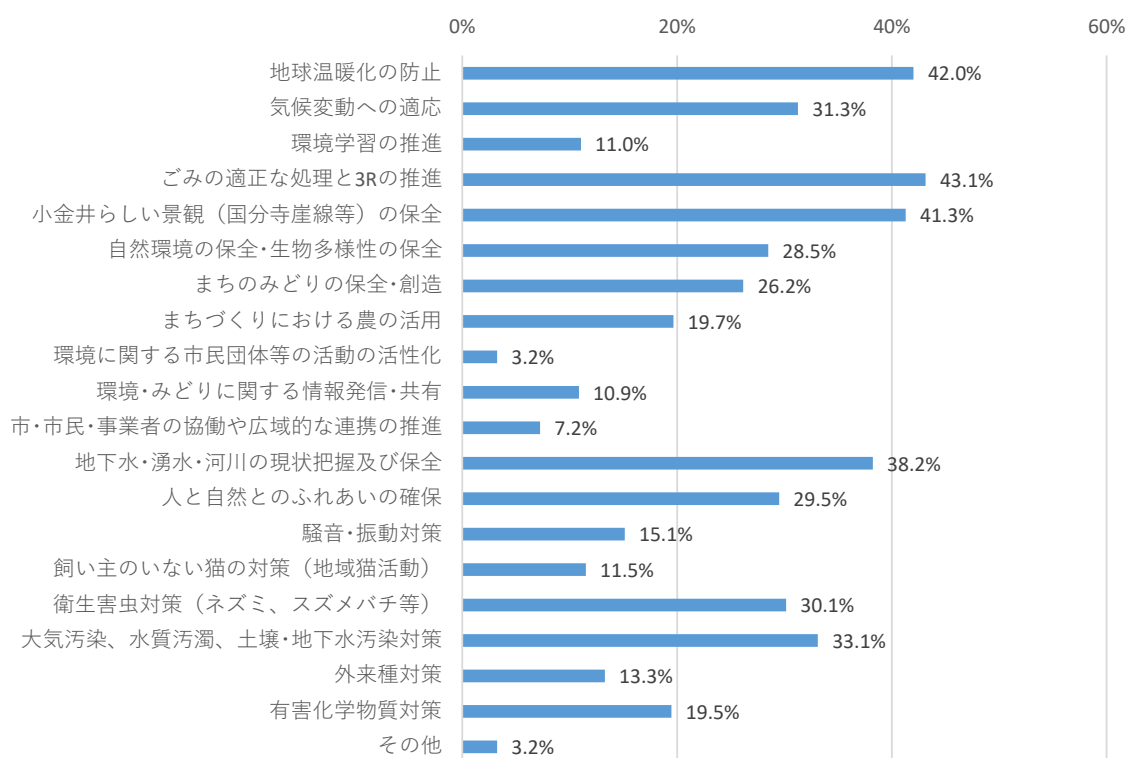


図 今後特に重要だと思う環境に関する取組

6 小金井市の「みらい」の環境について

お住いの地域やその近くで、将来の小金井市に残したい環境や大切にしていきたい環境は何ですか。以下のうちから5つまで選んで、右の欄に記載してください。

小金井市の将来に残したい環境や大切にしていきたい環境について、「玉川上水や野川、仙川などの水辺空間」が66.8%で最も高かった。次いで「名勝小金井（サクラ）など桜のある風景」（63.4%）、「きれいな河川や湧水」（52.8%）が高かった。

みらいの環境（n = 1,078）

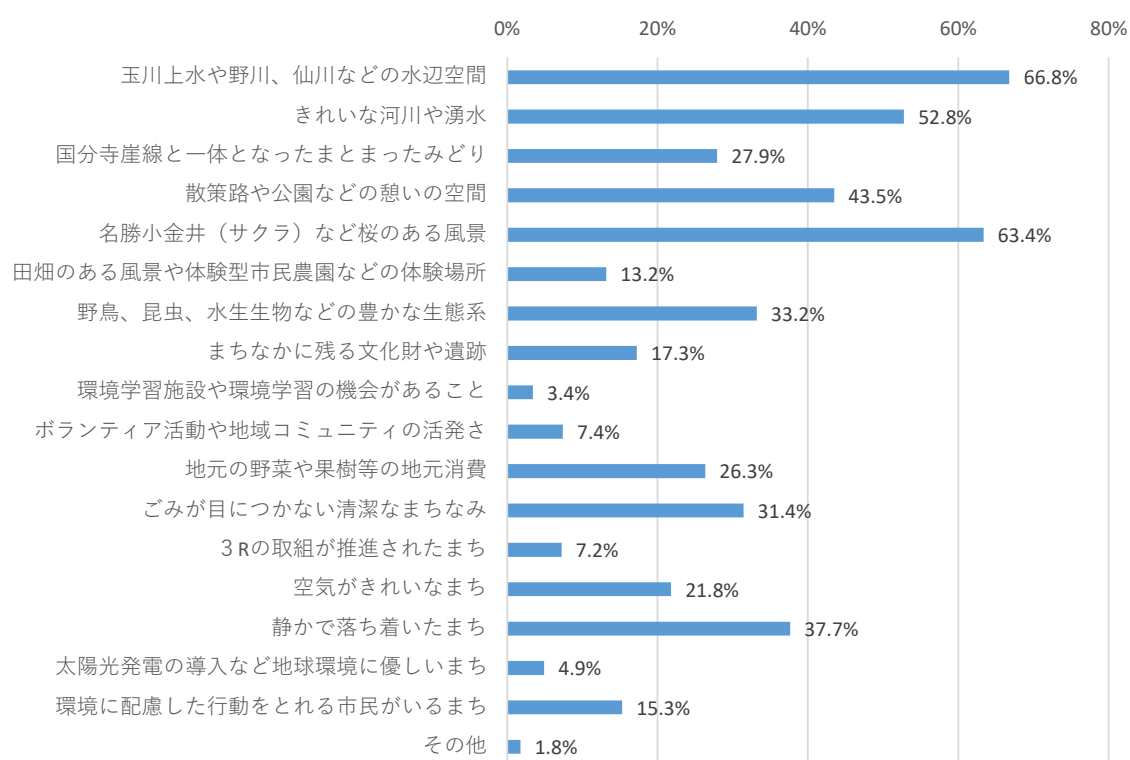


図 残したい・大切にしていきたい環境

7 環境保全に関する用語の認知度について

最近よく使用されている環境保全に関する用語について、該当する番号1つに○をつけてください。

環境保全に関する用語について、「意味を含めて知っていた」、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」の合計値は「カーボンニュートラル」が89.7%で最も高かった。

「ネイチャーポジティブ」、「30by30」の認知度は低かった。

用語の認知度（n = 1,078）

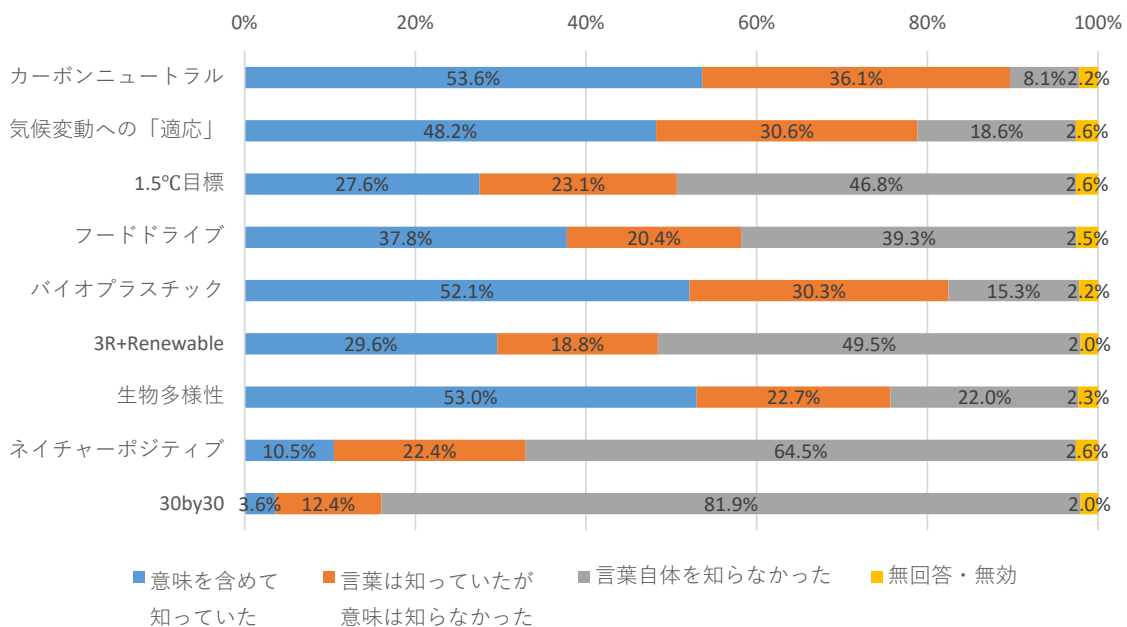


図 環境保全に関する用語の認知度

環境基本計画の指標となっている「気候変動への適応」の認知度は78.8%となり、令和12年度の目標値である50%を大きく上回った。「生物多様性」の認知度も、目標値の75%をわずかに上回った。

表 環境基本計画の指標

項 目	令和元年度	令和7年度	令和12年度（目標値）
気候変動への「適応」	25.3%	78.8%	50%以上
生物多様性	—	75.4%	75%

8 小金井市のみどりについて

本市のみどりの施策等について、感想をお聞かせください。該当する番号1つに○をつけてください。

みどりの施策等について、「満足」、「やや満足」の合計値は「みどりの豊かさ」(72.3%)、「公園の居心地の良さ」(69.1%) で高かった。

「ボランティア活動の参加のしやすさ」、「イベントの参加のしやすさ」は2割以下で低かった。

「みどりの質」の「満足」、「やや満足」の合計値は47.5%であった。

小金井市のみどり (n = 1,078)

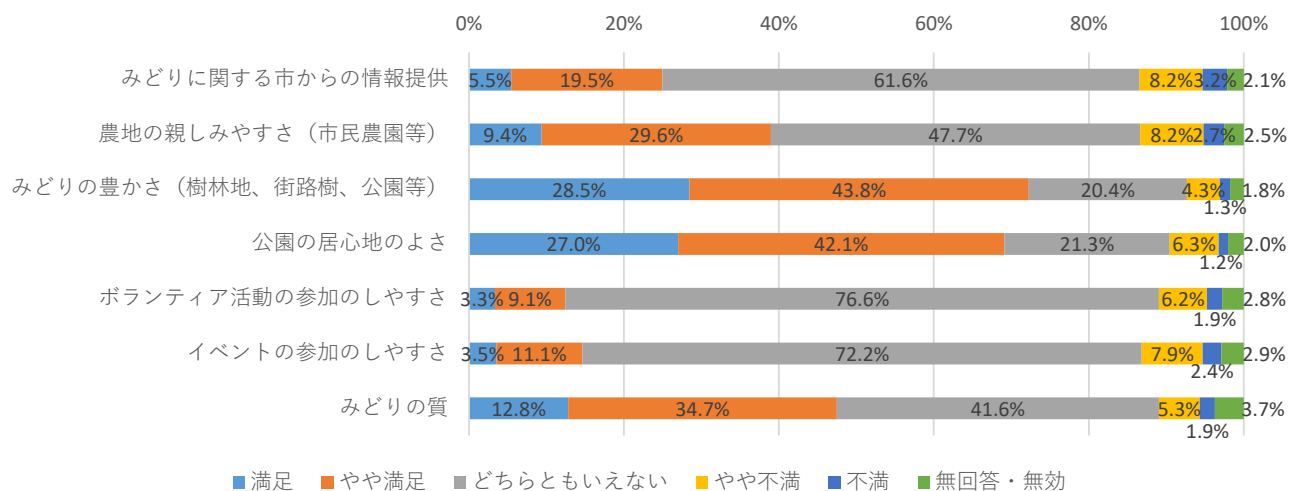


図 市のみどりの施策の満足度

「みどりの質」の満足度は、令和元年度の67.8%と比較すると、20.3ポイント低下した。

令和元年度においては、「どちらとも言えない」が19.0%であったが、今回の調査結果では41.6%となった。「やや不満」、「不満」の回答は、令和元年度と比較して令和7年度は低い結果であった。

表 みどりの質の満足度

項 目	令和元年度	令和7年度	令和12年度 (目標値)
みどりの質の満足度	67.8%	47.5%	80.0%

環境基本計画の指標である「みどりの豊かさ」の満足度は令和元年度と同程度であった。

表 環境基本計画の指標

項 目	令和元年度	令和7年度	令和12年度 (目標値)
みどりの豊かさ	72.0%	72.3%	80.0%

9 気候変動対策について

- 1) 日本は、2030 年度において、温室効果ガス排出 46%削減（2013 年度比）を目指し、2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目標としています。あなたはこのことを知っていましたか。該当する番号 1 つに○をつけてください。

日本の温室効果ガス削減目標について「知っていた」は 44.5%、「知らなかった」は 43.5%であった。

n = 1,078

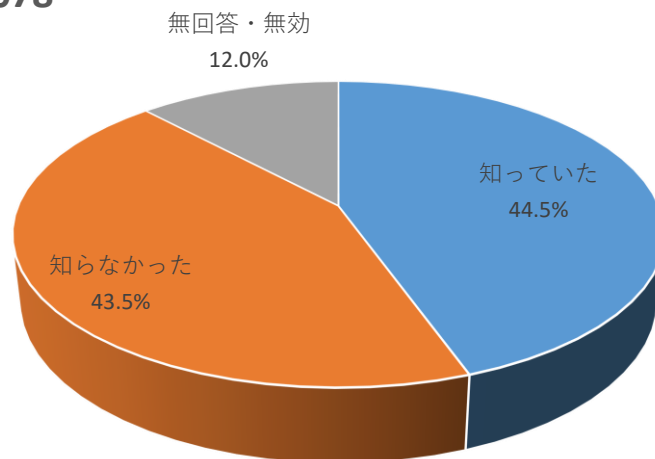


図 日本の削減目標の認知度

- 2) 小金井市の現在の温室効果ガス排出削減目標は、2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現の目標は国と同じであるものの、中期目標である 2030 年度においては温室効果ガス排出 26%削減（2013 年度比）を目指すとしています。（国の目標は 46%削減）あなたは 2030 年度における小金井市の目標数値について、どのように考えますか。該当する番号 1 つに○をつけてください。

小金井市の温室効果ガス削減目標について、「国と同じ程度の目標を掲げるべき」は 42.5%、「現状も目標値でよい」は 38.8%、「国以上の目標を掲げるべき」は 14.2%であった。

n = 1,078

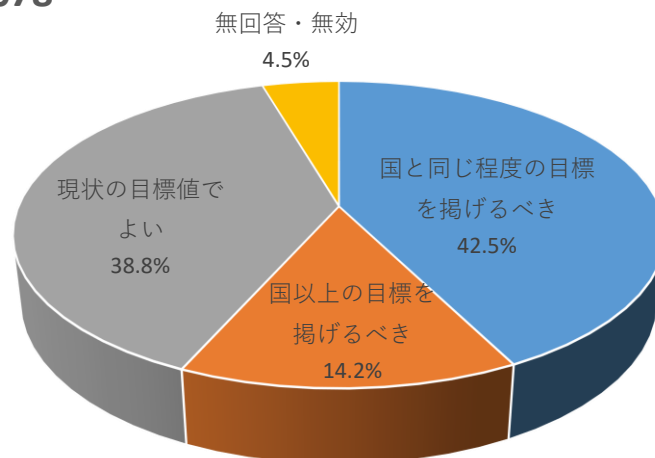


図 小金井市の削減目標

3) 2) の回答の理由があれば、お書きください。

(集計中)

4) 気候変動の影響に備える「適応」について、現在あなたが行っている取組にはどのようなものがありますか。該当する番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

適応の取組について、「熱中症対策の徹底」が93.9%で最も高かった。次いで「自然災害への備え」は63.3%であった。

適応の取組状況 (n = 1,078)

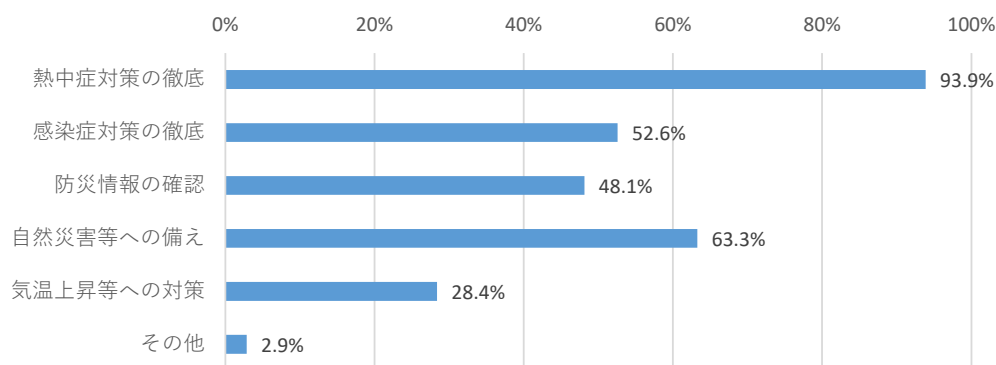


図 適応の取組状況

5) 気候変動の影響に備える「適応」について、市が重点的に対策すべきものは何ですか。該当する番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

市が重点的に対策すべき適応策について、「自然災害に備えた備蓄（水・非常食）の強化」が74.0%で最も高かった。次いで「防災に関する情報提供の強化」（65.1%）、「気温上昇等への対策」（60.0%）であった。

市が取り組むべき適応策（n = 1,078）

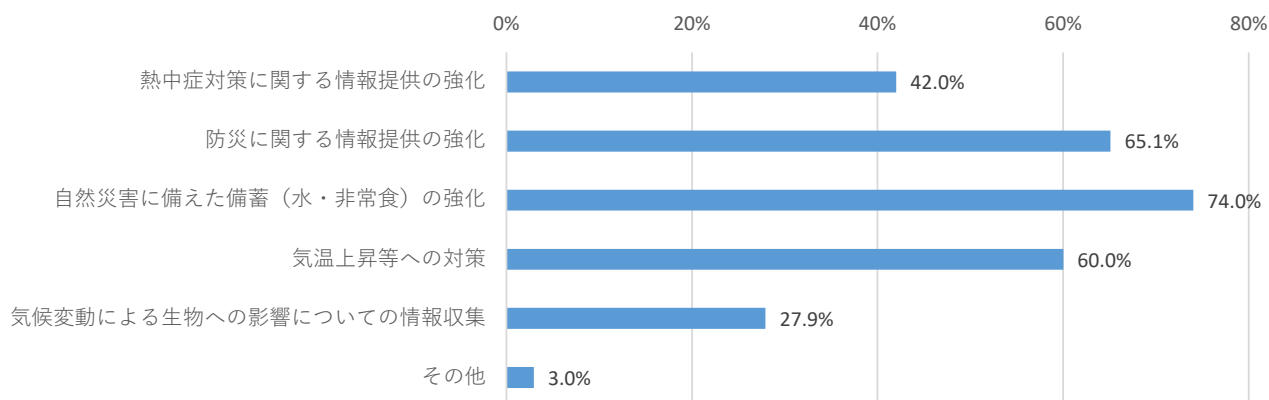


図 市が重点的に対策すべき適応策

6) 東京都では、「燃費の良い住宅」の普及を進めています。あなたは、断熱性が高く、太陽光発電設備や蓄電池等の機器を設置した「燃費の良い住宅」のメリットを知っていますか。該当する番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

「燃費の良い住宅」のメリットについて、「夏は涼しく、冬は暖かく、光熱費削減」が73.1%で最も認知度が高かった。次いで「停電時にも電気の使用が可能」44.8%であった。「知らなかった」は19.1%であった。

燃費の良い住宅のメリット（n = 1,078）

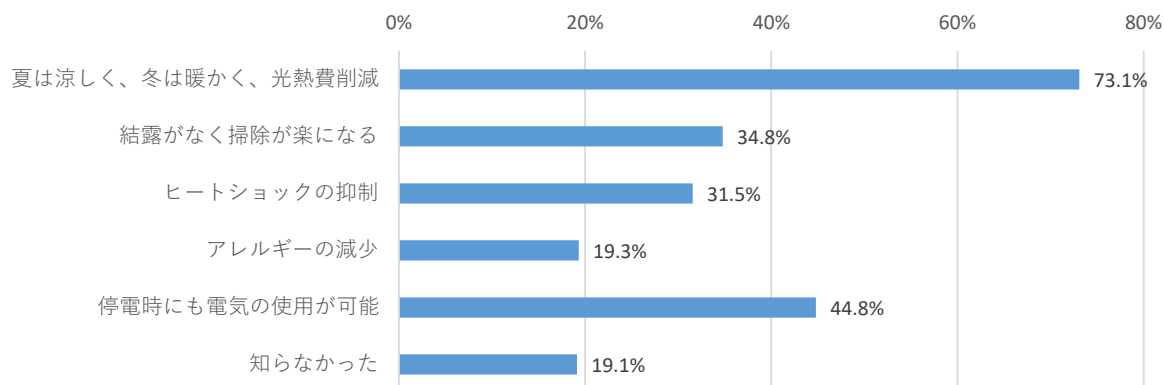


図 燃費の良い住宅のメリットの認知度

10 市の環境施策について

小金井市の環境施策について、あなたのご意見を聞かせてください。

(集計中)